

機械器具 16 体温計

管理医療機器 電子体温計 (14032010)

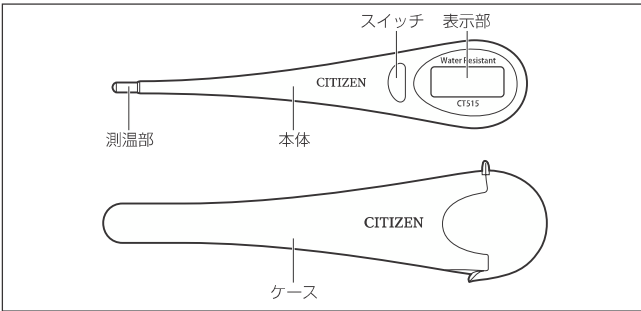
シチズン電子体温計 CT515

【警告】

- ・ お子様だけで使わせないでください。
- ・ 測温部を噛まないでください。

【形状・構造及び原理等】

1. 各部の名前



付属品: ケース、添付文書 (取扱説明書)・保証書

2. 体に接触する部分の原材料

- ・ 測温部: SUS304 ステンレススチール
- ・ 本体: ABS 樹脂 (抗菌剤使用)

3. 本体の寸法及び重量

- ・ 寸法: 約 24 (幅) × 117 (長さ) × 13 (厚さ) mm
- ・ 質量: 約 9g (電池含む)

4. 電気的定格

- ・ 電源: DC1.5V (アルカリボタン電池「LR41」1個)
- ・ 電撃保護: 内部電源機器 B 形

5. 原理

本製品は、人の体温を測定するための装置であり、測温部、本体、表示部、電池カバー等からなり、測温部に伝わった温度を感温素子により電気量に変換し、その電気量を LSI により演算処理し、最高温度を保持し、体温値としてデジタル表示するものです。

【使用目的、効能又は効果】

本製品は、測温部を部位に接触させて、腋下(わき下)、舌下(口中)の体温を測定し、最高温度を保持しデジタル表示する装置です。

【品目仕様等】

体温計の種類: 実測式、一般用、測温部一体形、防浸形
最大許容誤差: ±0.1℃
(標準室温 23℃にて、恒温水槽で実測測定した場合)

応答特性: 30 秒以内

防浸形: JIS T 1140:2005 の規定による

測温範囲: 32.0℃~42.9℃

測定範囲外告知: 低い時... **Lo**℃ 表示

高い時... **Hi**℃ 表示

定格及び電源: DC1.5V (≡) (≡: 直流)、
LR41 (192) タイプ相当 1 個

消費電力: 0.1mW

電池寿命: 約 3 年 (但し 1 回 10 分・1 日 1 回ご使用の場合)

温度表示: 数字 3 桁・℃、表示単位 0.1℃

機能: ブザー付き、前回値メモリー機能付き

電撃保護: 内部電源機器 (人) (人: B 形装着部)

使用環境: 温度: 10~40℃、湿度: 30~85%

保管条件: 温度: -20~60℃、湿度: 95%以下

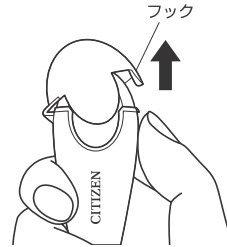
※本製品は EMC 規格 IEC60601-1-2:2001 に適合しています。

EMC 適合

※本製品は JIS T 1140:2005 に適合しています。

【操作方法又は使用方法等】

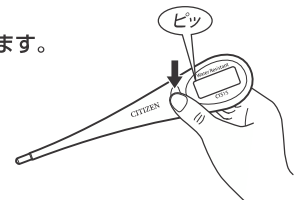
- * (1) ケースのふたを開けて、体温計を取り出します。



※側面のフックを親指で押し上げてください。

- (2) スイッチを約 1 秒押します。

「ピッ」とブザーが鳴り



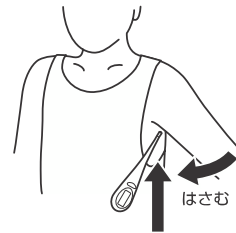
の動作確認表示がされたらすみやかに (10 秒以内) 検温を行ってください。

※ 10 秒以上検温しないとブザーがピーピーピーと鳴ります。
この場合は、いったん電源を切って、最初から始めてください。

- * (3) わき下又は口中で、検温します。

●わき下検温

あらかじめわきの下の汗を拭き、わきのくぼみに体温計の先端(測温部)があたるように、斜め下方向(30°~45°)になるようにはさんで、わきをしっかりと閉じます。



下から押し上げて密着させます

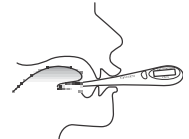


わきをしっかりと閉じます

<ご注意> 先端(測温部)がわきのくぼみからズレていたり、わきの閉じ方がゆるいと検温の途中でブザーが鳴り、低い温度が表示される場合があります。

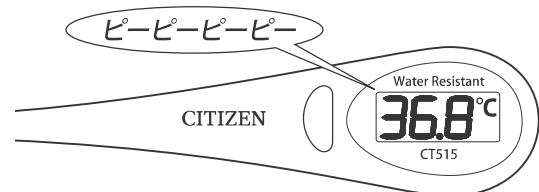
●口中検温

体温計の先端(測温部)を舌下(舌の裏側のつけ根)に入れ、舌を密着させたまま口を閉じます。



検温中に口を開けたり、測温部を動かさないでください。

- (4) ブザーが鳴ります

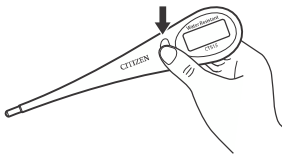


● 温度上昇が緩やかに(0.01℃/8秒)になるとブザーがピーピーピーと鳴ります。

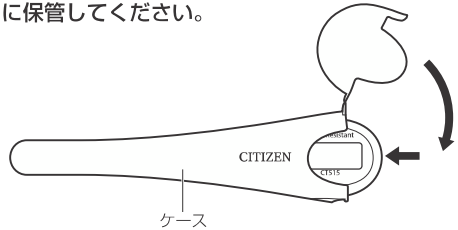
● より正確に検温するときにはわき下で 10 分以上、口中で 5 分以上検温してください。

(5) 検温結果を確認し、電源を切ります。

- 電源を切り忘れても、約16分後に自動的に電源が切れます。
- 続けて検温する場合は、いったん電源を切って、最初から始めてください。

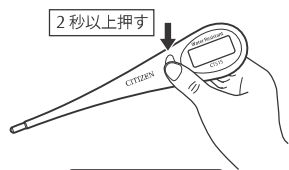


(6) ご使用後は必ず水分をよく拭き取って、清潔な状態で付属のケースに保管してください。



前回の検温値（メモリー）の呼び出し方

スイッチを2秒以上押し続けます。
※スイッチを押し続けている間、前回の検温値（メモリー）とMマークが表示されます。



全点灯表示



の後、

前回の検温値（例）



が表示されます。

スイッチを離して動作確認表示がされたら、
検温準備中 検温準備完了



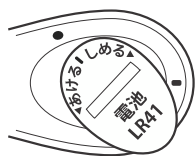
検温を始めてください。

電池交換の方法

- スイッチを押してMマークが表示されたら、下記の手順に従って、新しい電池と交換してください。電池はLR41(192)相当をお買い求めください。
なお最初から入っている電池はモニター用ですので、3年以内に電池が消耗する場合があります。

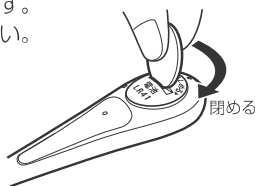
●●電池交換の手順

- ① コイン等を電池カバーの溝に入れ、反時計回り（約140度）にまわしてください。
- ② 電池カバーが上がってきますので、手で取り外してください。
- ③ 古い電池を取り外してください。
- ④ 電池の(+)側を上にして新しい電池をセットしてください。
- ⑤ 電池カバー側の●印と本体側の●印を合わせて、カバーを押さながらコイン等で時計回りにまわしてください。



- 電池を入れると自動的に電源が入ります。スイッチを押して電源を切ってください。

- お様が電池や電池カバー部分をなめたり、飲み込まないように十分注意してください。万一飲み込んだ場合はただちに医師に相談してください。



- 本製品及び取り出した使用済みの電池を廃棄する場合は、お住まいの自治体の方法に従って処理してください。

【使用上の注意】

- (1) 口中の温度はわき下の温度より0.2～0.5℃高いといわれています。
体温測定は同一部位で一定時間検温してください。
- (2) 運動、入浴、食事のあとの約30分間は検温を避けてください。
- (3) 周囲温度が32℃以上の場合、測温部を水で冷やしてから測定し、周囲温度の影響を受ける前にすばやく表示をお読みください。
- (4) 人の体温以外の測定には使用しないでください。
- (5) 超音波洗浄はしないでください。[故障の原因となります]
- (6) 水中に放置したり、水道の蛇口に直接あてないでください。
- (7) 曲げたり落としたり強い衝撃を与えないでください。
- (8) 口中でご使用の際は、測温部などを噛まないでください。
[事故や故障の原因となります]
- (9) 汚れは、消毒用アルコールまたは中性洗剤をしみこませた布以外では拭かないでください。[シンナーやベンジンなどの使用は、変質や故障の原因となります]
- (10) 検温結果から、自分で診断したり治療をしたりしないで下さい。必ず医師に相談し、指導を受けてください。
- (11) 水洗いを行う場合は、洗面器等に貯めた水に体温計を浸してから、汚れを拭き取るようにしてください。本品は、JIS T 1140:2005に準じた防浸規格に適合しておりますが、本規格では流水等の高い水圧や、長時間の浸漬については保証されておられません。
- (12) 故障を発見した場合はただちに使用を中止し、分解せず、販売店又は弊社お客様相談室（フリーコール：0120-88-6295）に連絡してください。
- (13) 修理、改造、分解は絶対に行わないでください。
お客様による修理、改造等による故障、及び記載された使用方法以外の使用における故障等については、弊社は一切の責任を負いません。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 貯蔵方法

高温や直射日光の当たる場所、低温の場所、湿気が多い場所、ホコリが多い場所、腐食性のガスが発生する場所に保管しないでください。
長期間で使用にならない場合は、電池を取り出して保管してください。

2. 使用の期間

標準的な使用期間の目安：5年（自己認証による）

【保守・点検に係る事項】

- (1) 測温部を消毒する場合には、消毒用アルコールを含ませたガーゼ等で軽く拭いて下さい。また、測温部を長時間アルコールに浸漬したり、熱湯（60℃を超えるお湯）で消毒しないでください。
- (2) 汚れがひどい場合は、中性洗剤を含ませた布で汚れを落とした後、洗剤をよく拭き取って下さい。シンナーやベンジンなどは絶対に使わないでください。

【包装】

1個/箱

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売元 ： シチズン・システムズ株式会社
住 所 ： 東京都西東京市田無町 6-1-12
電 話 ： 0120-88-6295
製 造 元 ： 西鉄城精電科技(江門)有限公司
 CITIZEN SYSTEMS (JIANGMEN) CO., LTD.
 中華人民共和国

お問い合わせ先

シチズン・システムズ株式会社 お客様相談室
〒188-8511 東京都西東京市田無町 6-1-12
電話：0120-88-6295